

2022

JULY 7 vol.52

東京成徳広報



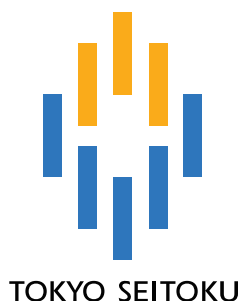
新しい園舎の成徳幼稚園。緑豊かな園庭で触れ合う園児と外国人講師



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言「コロナ後の世界」 東京成徳学園 学園長 木内 秀俊
P 4	特集「グローバル人材の育成に関する座談会」
P 8	Topics P 8 大学（国際学部 / 子ども学部 / 応用心理学部 / 経営学部） P10 大学院・短期大学 P11 中学・高等学校 P12 深谷中学・高等学校 P13 幼稚園
P 14	ひと「活躍する卒業生」 一般社団法人ハンドレッド 代表理事 / 株式会社ヒポクラテス 代表取締役社長 小野寺 仁 さん
P 16	進路 進学・就職 P16 大学・短期大学の就職・進路 P17 高等学校の進学 (東京成徳大学高等学校、東京成徳大学深谷高等学校)
P 18	学園の動き「令和3年度事業の概要」
P 19	学園の動き「令和4年度事業計画（抜粋）」
P 20	学園の動き「役員・評議員の改選」 / 表彰・受賞のご紹介 役員就任、退任 名誉教授授与
P 21	学園の動き「学園人事」 採用・退職・昇任・異動
P 22	クラブ活動等報告 クラブ活動等大会成績
P 24	ブランド・ステートメント / SNS / お問い合わせ先



学園シンボルマーク

イエローは「活力」と「勇気」を表し、三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、同窓生を象徴しています。ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五本の柱は五つの教育目標を象徴しています。そして、八本の柱が一体となり、東京成徳学園とその学園に集う人々のヒューマニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 新しい園舎の成徳幼稚園。緑豊かな園庭で触れ合う園児と外国人講師

新園舎が完成し、園名を「成徳幼稚園」に改称して新しく生まれ変わりました。園庭にはクスノキの大きなシンボルツリーや枝垂れ桜などが植樹され、また園庭全面に芝生が張られたことで緑豊かな環境となりました。成徳幼稚園では、早くから英語を身近なものとするために、外国人講師による英会話指導を行っています。園児は英語の歌やゲーム、あいさつ、正しい発音などを楽しく学んでいます。



コロナ後の世界

東京成徳学園 学園長 木内 秀俊

一・日常の消失

コロナの災厄が世界を襲ってから既に2年以上が過ぎた。その間3密を避けるなどの基本的な感染対策に加えワクチン接種が進み今は小康状態となっている。2年以上におよぶコロナへの対応で人間同士の対面でのコミュニケーション機会が大きく損なわれ日常的な生活が失われたことが最大の災厄であった。

教育の場においても休校・リモート授業などを余儀なくされるが多く青少年の健全な成長発育にも支障をきたしたと思われる。社会全体では蔓延防止措置により経済活動は落ち込み、特に飲食・宿泊・交通・イベントなどの分野は甚大な被害を受けて給付金などの支援が必要となった。またサプライチェーンも寸断する打撃を受けた。東京オリンピックは何とか1年遅れで開催されたものの無観客を余儀なくされた。こうした日常が失われる中で日本社会のデジタル化の遅れと制度や意

思決定の遅れなどの欠陥が明らかとなってきた。

二・既視感のある状況

コロナの終息もようやく見えてきた中の本年2月ロシアによるウクライナ侵攻が行われた。今回の出来事は既視感がある。第二次大戦前にドイツのナチス政権がオーストリア併合を行い、次いでチェコに対してズデーテン地方を割譲要求したことを思い起こさせる。ミュンヘン会議でチェコが犠牲となり小康を得たもののナチスの拡大は止まらずポーランド侵攻により結局戦争に突入した。

今回のロシアの行為はウクライナ国と国民を抹殺するような行動・意志を示しており、ウクライナの国や人々は徹底的に戦わざるを得ないと思う。西側先進国も危機感を持ち結束してロシアに経済制裁をしウクライナには軍事支援を行っている。ただ今回のロシアの行為を認めない国は多いが、制裁を表明している

のは西側先進国が中心である。歴史的事情や経済的な理由により、中国・インド・ブラジル・南アフリカなど制裁に加わらず自己の国益を重視する国も多く状況は複雑である。

三・グローバル世界の危機

これまで世界はグローバル化の動きが進んできた。しかしコロナの蔓延と米中の政治経済面での対立に加え、今回のロシアのウクライナ侵攻によって人・物・資本・情報などが自由に世界を往来する状態が崩壊している。現在はロシアへの制裁でサプライチェーンを寸断するデカップリングの動きが強まっており、エネルギー資源・希少鉱物・食料など供給面で制裁する側も含め世界的な困難を抱えている。

このような状況は前世紀の世界大戦前のブロック経済の時代を思い起こさせるものである。しかも現在の世界は戦前と異なり政治・経済のみならず社会・文化・歴史の異なる多くの独立国がありそれぞれが国益を追求している。単純に善悪で分けられない難しさもあり平和な国際秩序を維持するため忍耐と知恵と行動が必要とされる危機的な時期と思う。

四・わが国の立場と建学の精神

民主主義国と強力なリーダーを有する専制的な大国との分裂・抗争は我が国の立ち位置にも重大な影響を与えている。双方の価値観の相違が分裂・抗争を齎しているが、あえて言えば100%どちらかが正しくあるいは間違っているとは言えない面もある。しかし今回のロシアの力による無法な侵略行為は全く認めることのできないことであり、我が国は民主主義国の一員としての立ち位置に立つ必要がある。平和の秩序は影響力の大きい国が力の行使によらず国際的なルールを共通して尊重しなければもろくも崩れ、ウクライナのよう^{もたら}に被害を受ける国がでる悲しい現実を教訓としたい。

本学の建学の精神「成徳」は他者との関係性を表すものであり、その根底には相互の違いは残しつつも「共生」という条件が必須となる。それを無視して力で他者を虐げるような相手には、時として断固とした対処が必要となる。「成徳」を貫くにはそうした強さも必要とされることも我々は意識せざるを得ないであろう。

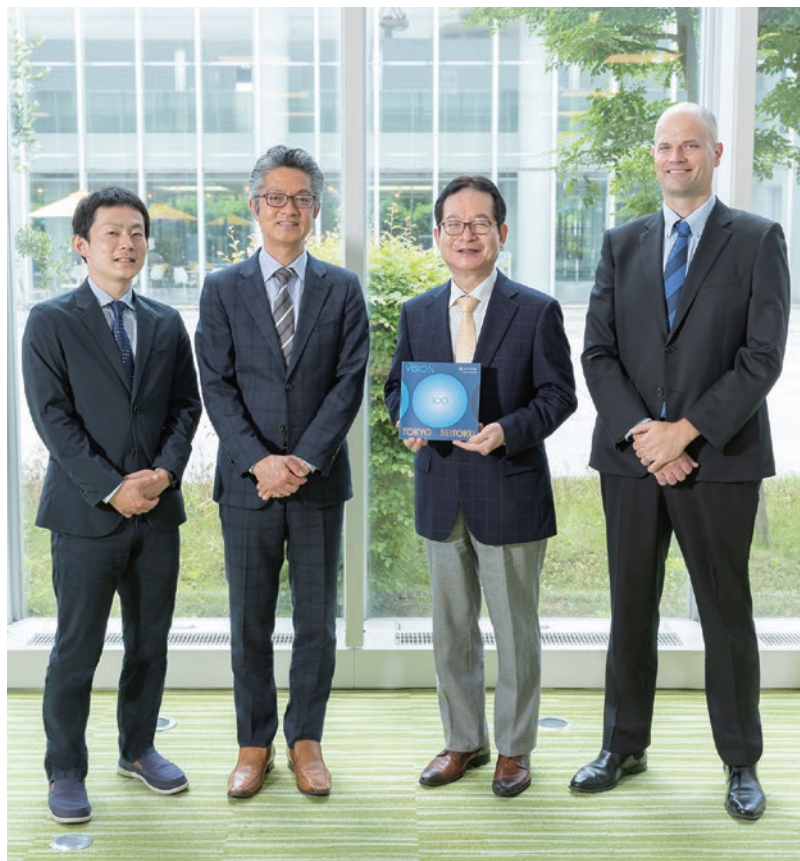
東京成徳ビジョン100
『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成に向けて

東京成徳ビジョン100の「『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成」

に向けて、多様な施策が行われています。今号の特集では、大学および中学校・高等学校の教員が意見を交換しながら、人材の育成方法や将来像、教育支援方法としての留学やICTのあり方などを考えます。

学園全体として教育環境を重点整備

芳賀克彦・東京成徳大学は2019年の国際学部開設から4年目を迎えます。今年度は第一期生を社会に送り出すうとしています。同学部は入学から半年後に約1年間の海外留学を必須とするなど「『成徳』の精神を持つ



左から和田一将教諭、茂原輝光教諭（ともに東京成徳大学中学・高等学校）、芳賀克彦国際学部長・教授（東京成徳大学）、ハウズ・スティーブン教諭（東京成徳大学深谷中学・高等学校）

グローバル人材の育成」を具現化する学部といえますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で現地留学の実現が一時困難な状況もありました。2022年についてはアメリカ・ワシントン州のカスケディア・カレッジ、グリーンリバー・カレッジという2つのカレッジおよび、オーストラリア・メルボルンのディーキン大学、または韓国の3つの大学の言語教育院に約1年間学生を派遣する予定です。

グローバル人材の資質能力は語学だけではありません。異文化への理解、新しい環境への適応力、広義な意味でのコミュニケーション能力も欠かせないものであり、それらを学園全体でいかに養っていくのかについても課題だと考えています。

茂原輝光・東京成徳大学中学・高等学校（以下・東京校）では、まず中学2年次にフィリピン・セブ島で2週間ほどの語学研修を行い、海外生活を体験します。そして中学3年次には選択でニュージランド学期留学に行きます。入学時から語学研修と学期留学に備え、コミュニケーションとしての英語力を高めるという意識のもとで学



校生活を送っています。

和田一将・中高でもコロナの影響で緊急帰国や変更なども生じましたが、コロナ前からオンライン英会話を導入して積極的に活用しています。たし、外部講師をお招きしてのグローバル・コンピテンシー・プログラムで日常的にグローバルバリエーションに触れる機会を増やしていました。学期留学という目標があることで、生徒自身が「ここを伸ばしたい」「こうなりたい」という気づきを得られるよう、学びの計画を立てて取り組んでいます。



低下が国際的にも指摘されています。学習環境の整備は欠かせませんが、学生のモチベーションが何より大事で、そこはまだまだ伸ばしていかなければいけません。

芳賀…大学では2020年4月にスタートした「グローバル教育センター」のもと、ネイティブスピーカーによる語学クラスを豊富に用意しています。また、大学、短大の全学生を対象とする短期留学、交換留学の受け入れや派遣、留学生との交流イベントなども開催しています。特に語学クラスについては、どの学部、短大の学生でも空き時間を利用して、ぜひ活用して欲しいです。

CLIL※**メソッドを導入し、英語で様々な教科を学ぶ**

ハウス…私が日本に来てショックだったことが大きく2つあります。まず1つ目がICT活用です。私がオーストラリアで教えていた2009年頃、現地では1人1台の端末を活用していましたが、日本ではまだまだ板書で授業が行われていました。今では改善されていますが、スタート時点での差は否めません。

2つ目は授業の方針です。「この教科書通りに英語の授業を進めてください」そして「テストに出るから覚えてください」と、単語や文法を重視して覚えることがメイン。要は、単純に「英語を学ぶ」状況でした。幸い、深谷校の校長先生と話し合っ

ど英語学習を苦手だと感じる生徒が増えてしまいかねませんから、中学からその意識をなくしたいですね。

茂原…日本は正しい回答をする学生、要は記憶力のいい学生が評価される傾向にあります。海外ではアウトプットを重視されますよね。例えばニュージールランドでは正解を言っても「Why?」と聞かれますし、筆記テストは答えに加えてプロセスを記入する箇所があり、その配点が高い。



当校では2010年頃からネイティブの先生が入ってくれたことによつて、ハウス先生もおっしゃるように、「英語で学ぶ」授業が大事だという概念が定着しつつあります。

芳賀…試験科目としての英語だと捉えてしまうと、中学、高校と進むほ

和田…中学では生徒が各国の大使になる「模擬国連」を取り入れていきます。国際社会における各国の政策を知ることができ、問題解決のための視点を養い、ディスカッションやスピーキングの実践の場となります。ここから、「環境問題についてもっと知りたい」「人権やジェンダーを学びたい」と、自分の興味を深めていくきっかけにもなっています。

※CLIL (Content and Language Integrated Learning) : 他教科科目 (理科や社会科など) やテーマの内容の学習と外国語 (主に英語) の学習を組み合わせた学習。



茂原…歴史の授業で学んだ中から、お気に入りの人物を紹介するチャリシを英語で作成させる活動では、生徒たちはその過程の中で過去形について自ら学んでいきました。やはり、生徒や学生が英語を使う仕掛けを我々が作ることに尽きますよね。

他にも、日本と諸外国を比べさせるような授業も効果的です。自分たちの足元を見返すこともこれこそグローバルに触れる一貫ですから。

ICT教育関連設備の充実と

一層の強化・活用

芳賀…コロナ禍でも、本学国際学部の学生が参加したディーン大学のオンラインプログラムでは、留学生がオンライン上で一緒に授業を受けたり情報交換をしたりといった環境づくりが積極的に行われました。気軽にコミュニケーションを取りながら、友情を育んだ学生もいます。大学でもICTに取り組んだことで、日本とオーストラリアに時差

がなかったこともありましたが、学生たちはICTを活用して距離と時間の制約なくコミュニケーションができました。今後、各国の行き来がスムーズになり、また相互交流が復活しつつありますから、これからの時代に対応できる力を生徒や学生につけてあげたいですね。

茂原…東京校ではICT活用推進部長として和田先生が教育ICT実践に尽力してくださっています。

和田…はい、1人1台のiPad導入を軸としたICT教育と、アップルから「Apple Distinguished School」認定を受け、多くの科目でiPadの機能を駆使した授業に取り組んでいます。学校自体がグローバルな観

点で評価に値することなど認定のハードルが高く、認定を受けているのは世界36か国で689校。日本国内ではわずか11校です。iPadを学校生活の様々な場面で調べものに使ったり、プレゼンテーションの作成を行ったりと、あくまでツールとして活用しています。

ハウズ…深谷校もWi-Fiや1人1台のChromebookなどICTの基本的な環境は整ったので、これから進化させていく段階です。とはいえこれで満足せず、和田先生のお話にあったように、ツールとしていかに使っていくかということをお職員で考えていかないといいけません。



グローバル人材とキャリアデザイン教育

和田…板書を黙々と写す教室での当たり前の光景が1人1台のiPadが登場したことで少しずつ変化し始めてきました。そこに抵抗感を覚えるのではなく、生徒たちの創造的な発想を大切にできる授業作りが大事だと思っております。さらに発展させていきたいです。東京成徳ビジョン100にある「『成徳』の精神」をグローバル社会の中で発揮することのできる人材像の育成に努めていきたいです。

茂原…中高一貫を担う立場から、中学で伝えたい軸となるものは「自立」の大切さです。中学での長期留学は早すぎると思われるかもしれませんが、違う環境に飛び込んで自分



の力で乗り越え、その過程で自らに足りないものに気づくこともまた自立です。時には「Help me」を求め、そして「Thank you」と感謝を伝える。自立は感謝と表裏一体で、どちらも知ること人間は成長していきます。この経験を先のキャリアデザインに活かすことで次のステージが見えてきますし、そこに英語がツールとして入ると、さらに世界が広がりますから。

ハウズ…文法や単語を覚えることに必死になり、テストをゴールにして詰め込むように勉強させるのではなく、「英語で学ぶ」ことで生活の中に英語が溶け込むようにあつて欲しいというのが、各教育段階に求めることです。生徒も「会話をしたい」「海外企業に就職したい」といった目標を見つけて、もっとパワフルになって欲しいですね。

芳賀…習得した語学力や留学の経験を将来のキャリアデザインと結びつけられるよう学生を育てたいと改めて感じましたし、さらに学生のモチベーションを高めていくような働きかけをしていくことの必要性を実感しました。



大学の国際学部や中・高の教員だけでなく、教員と職員が協働し、学園全体で一体となって挑戦していくことが望ましいですね。



芳賀 克彦 東京成徳大学 国際学部長・教授/グローバル教育センター長

専門領域：国際開発学、国際関係論、地域研究（アジア・ラテンアメリカ）、プロジェクト評価
出身大学等：上智大学文学部英文科、ピッツバーグ大学公共政策・国際問題大学院経済社会開発研究科

国際協力事業団*、外務省出向、JICAブラジル事務所長、JICA地球ひろば所長、JICA筑波国際センター所長、名古屋大学PhD登龍門推進室特任教授を歴任し、2019年より現職。
*現 独立行政法人国際協力機構（JICA）



茂原 輝光

東京成徳大学中学・高等学校 国際交流部長/英語科教諭

1993年東京成徳短期大学附属高等学校に英語科教諭として着任。1998年中高共学化の際に中1学級担任、以後学年主任、国際交流部長、英語科主任を歴任し、現在はニュージーランド学期留学をはじめ、各種海外研修プログラムの運営に携わる。



和田 一将

東京成徳大学中学・高等学校 ICT活用推進部長/英語科教諭/Apple Distinguished Educator*

2012年、東京成徳大学中学・高等学校に英語科専任教諭として着任。国際交流やiPadを活用したクリエイティブな英語の授業などを通して、多様な価値観の中で活躍できる創造的な人材育成に取り組む。



ハウズ・スティーヴン (Stephen Howes)

東京成徳大学深谷中学・高等学校 英語科教諭

言語学修士。専門領域：解剖学、応用言語学。
オーストラリアの伝統校勤務を経て2015年深谷校に赴任。2021年に特別教員免許状を取得。現在は英語教育とICT活用教育に、日々情熱を注ぐ。

国際学部

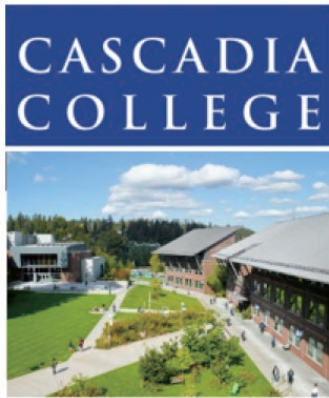
米国ワシントン州の2つのカレッジと留学生派遣に関する協定を締結

国際学部長・教授 芳賀 克彦

このたび、東京成徳大学は国際学部の英語圏留学先の新規開拓の一環として、アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市近郊に所在する2つのカレッジと留学生派遣に関する協定(MOU)を締結いたしました。

その1つ目は、カスケディア・カレッジ (Cascadia College) です。同学は1994年に創立された公立のカレッジです。現在、約2,500名の学生が学んでいます。名門ワシントン大学ポセセル校と共同立地のキャンパスを有し、図書館やカフェテリアなどの施設を共同で使用することができま。留学生サポートチームがESL*教員と連携して学生サポートを行っています。

2つ目のカレッジはグリーンリバー・カレッジです。同学は1945年に創立された公立のカレッジです。総学生数は約10,000人で、そのうち、留学生は約1,500人います。同学のキャンパスは自然が豊かなシアトルの郊外



に立地し、特に、留学生の受け入れについては、長い経験と実績があります。同カレッジとは以前、現地の語学学校であるEIS Seattle Centerを含む3者によるMOUを締結しましたが、これに替えて、同カレッジと本学との2者によるMOUを締結することにしました。

本年度の本学国際学部の英語圏留学については、学生の要望等を踏まえ、上記のアメリカの2つのカレッジおよびオーストラリア・メルボルンのディーキン大学 (Deakin University) に本年9月から約1年間の予定で学生を派遣する予定です。

イベント学部

板橋区親子向けプログラムに参加

子ども学部 准教授 羽岡 佳子

2年生選択授業「子どもの身体表現A」受講者が、板橋区主催イベント「CAP, Sわくフェスweek」に参加しました。

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの参加となることに加え、今年は学生が5名ずつのグループに分かれ、板橋区内の5か所の児童館で約30分間の乳幼児親子向けプログラム「絵本を題材にした身体表現遊び」を企画・実施するという、初の試みでの参加となりました。

当日までの準備期間において、授業で経験した子ども・親子の身体表現活動の経験を踏まえて絵本を選択し、活動の流れを考えました。次に、絵本の世界に入って楽しく動く工夫について話し合い、登場人物のペープサートや動くときの効果音に用いるための簡単な楽器を作ったり、動物の耳を付けたヘアバンドやメダルを参加人数分製作したりしました。実習も未経験で、子どもの前に立つのも初めてという学生も多くいましたが、親子で楽しんでもらう時間となる

よう、協力して準備を進めました。当日は児童館の皆さまに助けて

いただきながら、プログラムを終えたことが出来ました。ご参加いただいた方から「学生さんが笑顔で明るくて良かった。」「にこやかに接してくれて子どもも楽しんでました。」といった感想を多く頂戴し、学生の自信につながっています。

各々の省察から、子どもの年齢に合った活動内容を考える大切さ、援助方法や保育技術の修得、保護者への配慮などについて学ぶ重要性に気づいたことが窺えます。子どもと触れ合う機会が、学びを深める大きな一助となることを改めて感じるとともに少しずつ以前の

ような機会が戻り、保育者・教育者を目指す学生が、その想いをより確かなものにできる経験が、できることを願っています。



*ESL (English as a Second Language) : 英語を母語としない留学生が英語力を補強するために学ぶクラス

応用心理学部

【臨床心理学科】

107名が卒業、新入生118名が入学

臨床心理学科長 一谷 幸男

臨床心理学科では、3月に107名がめでたく卒業し、新社会人として巣立っていききました。学科の入学定員が大幅増となつてからは初めての卒業式。メルパルクホールでの卒業証書授与式のあとには、雨の合間を縫って皆が芝公園ベルリ像の前に集まり、記念撮影。保護者、教員からの祝福を受けて、それぞれの進む道



をお互いに確かめつつ、ひとときの歓談をしました。そして4月には、118名の新入生が入学。コロナ感染防止に万全の対策をしながらも、全面的に対面でのオリエンテーションを企画・実施することができました。

教員のみならず、例年にも増して多くの上級生が意欲的にボランティア参加をしてくれ、新入生は大学での学修の心構えを聞いてさつそく各自の時間を組むとともに、体育館でのゲームなどを通してこれから共に学ぶ新しい仲間との交流を楽しみました。

4月に専任教員が1名加わりました

4月から、専任教員として新たに小高佐友里助教をお迎えしました。

小高先生のご専門は学校臨床心理学、特別支援教育で、これまで小中学校のスクールカウンセラーとして、不登校やいじめを予防するための取り組みを実践されてきました。本学科では心理学的支援法（心理療法B）の授業をご担当。様々な立場からの心理療法を幅広く学生に伝える授業内容です。加えて大学院では、実習系の科目の運営サポートと院生フォローをお願いしており、学科生・院生にもっとも近いところで各種の相談に乗ってくださっています。

【健康・スポーツ心理学科】

就職活動を見据えたキャリア支援

プログラムの実施

健康・スポーツ心理学科准教授

夏原 隆之

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」という教えがありますが、就職活動もこれに通ずるところがあると思います。

2年生は昨年PROGTESTを行い、対人関係の構築力やコミュニケーション能力に優れている反面、情報の収集力や分析力、計画立案力や実践力が弱点であることが分かりました。本学科では4年間のカリキュラムを通じて前述した能力の育成にアプローチしていますが、他方、企業による採用活動は、ますます早期化・多様化してきている現状にあり、大学教育と並行して早期からのキャリア教育の必要性も感じていきます。

そこで今回2年生を対象に、5月14日、21日、6月4日、11日の4日間、計15時間の就職活動に向けたキャリア支援プログラムを実施する運びとなりました。本プログラムの目的は、就職活動スタート時の漠然とした不安を解消し自信をもって臨めるようにすること、自己分析など

将来像を描くことをきっかけに、大学生生活に対して目的意識をもって主体的に行動できるよう意識の変容を促すことにあります。本プログラムは、本学科卒業生による就活体験記講演、キャリアコンサルタントによる自己認識を高める講座、就職支援サービスを提供する企業による企業・業界を知る講座から構成されており、ワークショップを通じて多くの気づきを促す内容になっています。

各プログラムへの参加を通じて、就職活動について『わかる』だけではなく、自分に合った就職活動が自分で『できる』ようになることを目標にしています。本プログラムを学生が相手（企業や業界）と自分を理解する第一歩としつつ、今後学生がキャリア形成に対して多角的に教育・支援していききたいと考えています。



キャリアコンサルタントによる講座の様子



健康・スポーツ心理学科卒業生との座談会の様子

【幼児教育科】

令和4年度 スポーツ大会の様子

幼児教育科 准教授 池田 三鈴

5月21日(土)、3年ぶりに短期大学のスポーツ大会が開催されました。当日は、個性溢れるクラスカラーのTシャツに身を包んだ全クラス参加者が、東京キャンパスの体育館に集いました。開会式直後に木内学長を囲み参加者全員で撮影した集合写真は、待ちに待った成功の一枚です。昨年度・一昨年度の企画を経て3年越しの想いが実現した瞬間でした。

2年生は、社会情勢もあり施設実習中の学生が多い状況にありましたが、参加した2年生の連携プレーは流石でした。ほぼフルメンバーで揃っている1年生を相手に大健闘！当日指揮する桐友会も参加した学生も、それぞれが楽しみ充実した面持ちで過ごしていました。

また、コロナ禍におけるスポーツイベントの企画は、これまでの常識を全て覆しながら、大切なことは何かを考える時間でした。今年度は様々な討議の結果、縮小・分散開催、全参加者へのPCR検査を必須としました。度重なる企画書の訂正、感染拡大予防対策の検討では、参加者

だけでなく、実習先の高齢者や乳幼児をはじめ、この後に学生が関わる人々の安全・安心を第一に考えていました。「スポーツ大会」が心から楽しくスポーツに取り組む活動であると同時に、社会的な責任を負う自立した自治活動へと成長する機会になつていたと感じます。

最後に、これまで幼児教育科の伝統行事として行われてきた「スポーツ大会」は、今年度はコロナ禍での初開催となり、学生たちの自治・連携もさることながら、幼児教育科の教員と事務局職員との協働体制は素晴らしいものでした。この場をかりて、関係した皆さまに心より感謝し、御礼申し上げます。



Topics

東京成徳大学中学・高等学校 (中高一貫部)

実地踏査型研修旅行

学年主任 近江 祐

令和4年4月5日(火)、中高一貫部の実地踏査型研修旅行が実施されました。従来の修学旅行とは異なり、自ら好奇心と探究心を持って社会の中にある疑問を見つけ、事前の調査、現地での調査活動を通して、その疑問に対する自分なりの答えを考えることを目的とし、北海道・大阪・福岡の3か所を拠点としました。現地を調査する前に、およそ1年間、校内で仮説をもとにレポートを作成しました。当初は令和4年2月8日からの予定でしたが、新型コロナウイルスによる「まん延防止等重点措置」の発令によって令和4年度に振替実施しています。

現地では自らの仮説を検証すべく、グループに別れて行動しました。一般的な修学旅行と違って全員で行動する時間は少なく、行き先も班ごとに異なりましたが自分の興味関心を最大限に探究できる貴重な時間となりました。

本校4年生(高1)で実施している探究学習型授業(ダイバーシティゼミナール)は、設置されている全7講座の中から、自ら主体的に選択し、自身の興味関心の高い領域について探究していく授業です。

講座の1つである『SDGsと社会貢献』ゼミでは、SDGsに関連した様々な社会課題を、ビジネスの視点から考え、解決するためのプロジェクトを実践しています。2022年3月に、社会課題を解決するためのビジネスアイデアコンテストである「第9回SAGE JAPAN CUP」に出場し、食品ロスを解決するための教育型ミールキット開発案を考えました。食品ロスの中でも対策が遅れている過剰除去を減らすためのレシピ作成や、親子間コミュニケーションを促進するための付録などを試作しました。さらにアイデアを具現化するため、コップドリと共同開発プロジェクトチームを結成しました。本校は、大会で見事「優勝」し、2022年8月に行われる「SAGE WORLDCUP」への出場を決めました。

決まりました。



4年ゼミ SAGE JAPAN CUP 優勝

4年ゼミ担当 木内 雄太

本校4年生(高1)で実施している探究学習型授業(ダイバーシティゼミナール)は、設置されている全7講座の中から、自ら主体的に選択し、自身の興味関心の高い領域について探究していく授業です。

講座の1つである『SDGsと社会貢献』ゼミでは、SDGsに関連した様々な社会課題を、ビジネスの視点から考え、解決するためのプロジェクトを実践しています。2022年3月に、社会課題を解決するためのビジネスアイデアコンテストである「第9回SAGE JAPAN CUP」に出場し、食品ロスを解決するための教育型ミールキット開発案を考えました。食品ロスの中でも対策が遅れている過剰除去を減らすためのレシピ作成や、親子間コミュニケーションを促進するための付録などを試作しました。さらにアイデアを具現化するため、コップドリと共同開発プロジェクトチームを結成しました。本校は、大会で見事「優勝」し、2022年8月に行われる「SAGE WORLDCUP」への出場を決めました。

決まりました。

決まりました。



Topics

東京成徳大学高等学校
(高等学校)

3年ぶりの体育祭を実施できました

副校長 石田 和也

東京校では、20年近く前から、中高一貫部・高等部ともに、北区立北運動場にて、1学期に体育祭を実施してきました。北運動場には小規模ながらスタンダード観客席があり、例年、多くの保護者の皆さまにご観覧いただいております。

令和2年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月に入学式も行えないまま新年度が始まり、当然、1学期に行ってきた体育祭は実施できず、その後も分散登校・遠隔授業を併用しながら教育活動を行ってきました。学校行事や課外活動も本来の形態での実施は困難を極め、縮小や変更はやむを得ませんでした。生徒たちは日頃の成果を披露する機会を逸し、保護者の皆さまには生徒たちの成長の様子をご覧いただく場を十分に提供できない状況が、令和3年度末まで続いていました。

令和4年4月、オミクロン株の影響も徐々に収束傾向の中、参列いただく方々の人数制限は設けましたが、入学式を無事挙行し、新年度が始まりました。今年度、令和元年度以来3年ぶりの体育祭の開催に向け、生徒、教員ともに準備を進めてきました。最上級生

の3年生も令和2年度入学のため、本校での体育祭の経験は無く、感染症対策も考慮しながら、生徒会の生徒たちにとっては手探りでの運営となりました。全ての学年にわたって、保護者の皆さまにおいても、本校の体育祭観覧の機会が無かったため、今年度は観客席数を大幅に上回る観覧のご希望を頂戴いたしました。感染症への対応も考慮し、保護者の皆さまにとっても安全

な実施のためには来場者数を制限せざるを得ず、今年度は3年生の保護者の皆さまのみご観覧いただきました。梅雨の走りのように不順な天候が多い時期でしたが、実施当日は好天に恵まれ、生徒会の進行も滞りなく、生徒たちは思い切り学校行事を堪能できたように思われます。

成功裏に体育祭を終え、9月下旬に予定している文化祭の準備に入りました。体育祭同様、生徒たちにとっては本格的な文化祭の経験が無いままの実施になりますが、多くの方にご来場いただけるよう、生徒会を中心とした、より良い企画、新しい企画への挑戦を期待しています。



※写真は写真係生徒による撮影

Topics

東京成徳大学深谷中学・高等学校
(中高一貫コース)

宿泊農村生活体験

中高一貫コース長 川瀬 貴恵

5月29日(日)から3日間、中学生(全学年)が新潟県へ宿泊農村生活体験に出かけてきました。コロナ禍の影響もあり、今回の宿泊農村生活体験は、4年ぶりの実施となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の不安がまだ残るので、民泊は見合わせました。

それでも、生徒たちは、自然(ぶな林や水辺の生き物等)観察や味覚(そば打ち)体験・稲作(田植え)体験・ものづくり(草木染めや、つる細工)体験等充実した3日間を過ごしました。ここでは、中学校3年生の庄司美紀さんの感想を紹介します。

「2泊3日の宿泊農村生活体験で、一番心に残ったのは、稲作体験でした。新潟で食べたご飯はとておいしかったです。このおいしさは、農家の方々のお米に対する思いが詰まっているからだと思えました。

農家の方々は、除草作業が一番大変だと話してくださいました。



また、稲に声をかけると声が返ってくるという話も伺い、愛情深く育てていることを強く感じました。田の面積も非常に広く、農業の大変さを実感しました。

この宿泊農村生活体験を通して、自然と触れ合うことの楽しさや作物を育てる大変さを深く学ぶことができました。」



東京成徳大学深谷高等学校

ネットリテラシー講演会

生徒指導部長 為合 洋介

今日、SNSに関して便利である反面、多くの問題が生じているのが現状です。本校では、様々な教育活動の場面において、SNSに関してのトラブルに巻き込まれないように指導しています。今年度は、その一環として、4月13日(水)に、外部から講師の方をお招きし、高校1・2年生を対象とした、ネットリテラシー講座を学年ごとに実施しました。講演会では、SNSには色々な危険が潜んでいるため、まずはトラブルに巻き込まれないようにすること。また、簡単に加害者になってしまう可能性があるため、十分注意をすること。

もし、トラブルが起きてしまった時は、

- ① 落ち着くこと。
- ② 証拠を残す(スクリーンショット)。
- ③ 大人に相談する。
- ④ 適切な行動を起こす。

といった内容でした。生徒は真剣に講師の方のお話に耳を傾けていました。



「SNSに写真を投稿するだけでも、その背景等から本人が特定されてしまうこともあるので、写真を投稿する時は十分注意したいです。」「友達とのトラブルや事件に巻き込まれないように、日々の生活をもう一度見直す良い機会となりました。」「何が正しいのかを判断する力を身につけるとともに困った時は一人で悩まず、大人に相談することの大切さも強く感じました。」と生徒は感想を寄せられました。

成徳幼稚園

春の園外活動(新宿御苑へ遠足)

教頭 梶山 久美子

5月25日(水)年少・年中・年長合同で新宿御苑に遠足に行きました。年長・中組はスクールバスで、年少組は保護者同伴で現地集合としました。

当日は夏日となりましたが、少し風があり爽やかな遠足日和になりました。

コロナ禍のなかで、園外活動はしばらく中止していましたが、3年ぶりに遠足を実施することができました。

子どもたちは、朝から嬉しそうにワクワクした様子で集合し、バスの中ではクイズなどで楽しみながら過ごし、あつという間に新宿御苑に到着することができました。

現地では、大きな木がたくさん生えていて、普段見ることのないような珍しい樹木に園児たちは、興味津々でした。

年長・中組の子どもたちは、広い芝生の中を元気にかけっこし思いきり走りまわって楽しみました。たくさん遊んだ後は、だんだん日差しも強くなってきたので、涼しい木陰を探して、シートを敷いてみんなで食事です。お家の方が作ってくれたお弁当を皆で見せ合いながら嬉しそうに食べました。「外で食べるお弁当は特別美味しいね」と笑顔いっぱいの子もたち。食事の後は御苑内にある温室を散策して、バナナの大きな葉や形の違ったサボテンに興味深げに観察しました。



年少組は入園して初めての行事でしたが、子どもたちは広い芝生の庭園内を、走りまわったり、友達と一緒に遊び大喜びでした。今回の遠足は、初夏の自然を体験できた貴重な1日となりました。

児童発達支援事業所を開業、運営する一方、
コロナ禍に「福祉人材育成×IT」で起業。
持ち前の行動力で福祉業界の変革に邁進する
東京成徳大学の卒業生にお話を伺いました。

ひと
『活躍する卒業生』

一般社団法人ハンドレッド 代表理事
株式会社ヒポクラテス 代表取締役社長

小野寺 仁さん
東京成徳大学 人文学部福祉心理学科
(2011年3月卒業)

社会で活躍する東京成徳の卒業生をご紹介します。今号ご登場いただいたのは、大学卒業後に起業して児童発達支援施設を立ち上げた小野寺仁さん。現在、千葉県内に放課後等デイサービスを3施設展開。加えてYouTubeをはじめとしたSNSや講演会にも注力されています。業界の今後を見据えながら邁進する小野寺さんの学生時代から現在まで、お話を伺いました。

Q、幼少期の小野寺さんはどんなお子さんでしたか

父が転勤族だったので、転校が多かったです。小学校から高校まで何度も転校しているの、同じ学校で入学と卒業をしたことがないですね。

とはいえ新しい環境に対して苦手意識はなく、友達と関係を築いたり、コミュニケーションを取ったりすることは好きでした。小4から大学までサッカーをしていたので、チームで切磋琢磨しながら大会に向けて練習するといったところは、今の仕事や経営にも活かしていると思います。もちろん、当時はそこまで考えていませんでしたけどね。

Q、東京成徳大学に入学した理由を教えてください

自分の興味分野を考えたとときに、子どもと関わるのが好きなこと、高校時代に祖父母にお世話になったことから「福祉」というキーワードが浮かんできました。福祉関係のキャリアを考える上で社会福祉士の取得は欠かせないと思ったので、東京成徳大学の人文学部福祉心理学科(当時)に入学しました。大学で初めて同じ学校の入学と卒業を実現できました(笑)。

Q、大学での生活を振り返って、印象的な思い出はありますか

入学後のオリエンテーションで長野市の戸隠に行ったのですが、そこで同級生や先輩と一気に距離が縮まり、交友関係が広がりましたね。今でもみんなでワイワイと過ごした時間を楽しい思い出として覚えています。

あとは大学のサッカー部に入ったこともあり、部活の先輩とも仲良くさせてもらっていました。授業や課題の提出などを助けてもらったことも多かったです。先日、その先輩方と一緒に食事をしました。1人は外資系企業に勤務、1人は居酒屋を経営されていた。刺激を受けましたし、学生時代の話で盛り上がりました。

Q、小野寺さんが在籍していた当時、お世話になった先生を教えてください

担任だった中山先生*です。研究室に行つて相談したり雑談したりとお世話になりました。空きコマや部活までの時間に先生の研究室で過ごしたことはいい思い出です。大学全体がアットホームで、先輩や先生との垣根がない雰囲気だったんですよ。

あとは児童援助分野が専門の石田先生**や、発達障害や知的障害に関する学びのゼミの小野寺先生**は実際の現場での様々なケースについて教えていただきました。グループワークや演習は「幸せになってくれる子ども

*中山哲志先生(現在は東日本国際大学学長)
**石田祥代先生(現在は千葉大学教育学部教授)
小野寺研一先生

たちが増えたらいいな」と思いながら学んでいました。

Q. これまでで、ターニングポイントだったといえる経験は？

2つあります。1つ目は、大学4年生の時に行ったインドネシアへの旅行。1か月半ほど1人でバックパッカーをしての旅だったんですけど、現地の子どもたちと関わってリアルな貧富の差を肌で感じ、改めて福祉の必要性や、子どもたちが幸せである環境を作りたいと覚悟が決まりました。

2つ目は、児童相談所でのアルバイトです。一時保護の子どもたちと関わっていると、発達障害を抱える子が多いことに気づかされ、その部分のケアの重要性を感じました。

卒業後は知的障がい者入所施設に就職して3年程経験を積み、次は医療ソーシャルワーカーとして勤務しました。支援が好きだったので思い出はたくさんありますね。3社目に放課後デイケアの法人で働き、「自分で理想の施設を作ることができたら…」という思いがどんどん強くなりました。

Q. その後、2017年に独立されていますね

はい、今は2つの会社を経営しています。一般社団法人ハンドレッドという放課後等デイサービス・児童発達

支援の施設と、株式会社ヒポクラテスという福祉人材育成を目的とした会社です。

ハンドレッドでは、子どもに合った個別支援をしながら、プロによる集団行動や言葉のトレーニングを行っています。「100人の心に赤い火をともし」ことを目指して法人名を付け、現在は千葉県内に3教室(我孫子、天王台、流山)を展開するまでに成長しました。

ヒポクラテスは、コロナ禍で事業を見つめなおしたときに「福祉に関わる人の未来を作っていきたい」と強く感じ、YouTubeで「JINちゃんねる」という自分のチャンネルを立ち上げて配信を始めたところ、反響が大きくて。現在は社会福祉士を目指すオンライン

スクールや福祉職が学べる研修やオンラインサロン等も運営しています。取り組みをしている中で、もともと多くの人に影響を与えたい、福祉職の価値を高めたいという気持ちがあるので大きくなっていますね。



放課後デイサービス事業の1施設目となる「ハンドレット我孫子教室」



社会性の向上を目標に運動や遊びを取り入れたSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)が特徴

Q. 施設運営に加え、発信にも積極的に取り組まれているんですね

子どもたちのことを第一に考えていると、そこを取り巻く大人や福祉職の環境改善も大事だと思うようになってんです。その時に思いついたのが「福祉のスタバ化」というキーワードです。スターバックスは店内の空間設計が清潔で、スタッフもニコニコと接客

していて、とても居心地がいい。福祉業界もあのイメージになることができた方がいいですよ。福祉業界を1歩進めるため、まずは僕がどんな発信していきたい。代表である僕がこういった考え方なので、スタッフもどんな新しいことに挑戦してくれて、いいサイクルだと思っています。

Q. 今後チャレンジしてみたいことがあれば教えてください

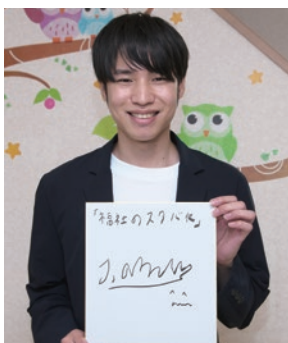
福祉は、「汚い・きつい・給料が安い」という3K業界と呼ばれることも多いのが正直なところ。でも、この業

界イメージを変えたいと思っています。先ほどお話しした「福祉のスタバ化」ともつながるのですが、ハンドレッドでそれを実践できていると手ごたえもあるので、ここは継続しながら子育ての知識や発達障害への理解、社会福祉士になるための情報発信などにもさらに力を入れていきたいです。

子どもたちの親御さんからも「次はこんなことをしてほしい」とお話をいただくので、その期待を超えられるような結果を出し続けていきたいです。

Q. 大学の後輩や、これから受験を考える方へのメッセージをお願いします

高校時代や大学時代は成績に一喜一憂したり、色々なことに迷ったりもすると思います。ただ、社会に出ると強い信念を持っている人や、「これやりたい!」という思いの強い人が成功していると感じます。今から、自分が感じることに正直になり、行動をして自分の道を切り開いてください。



小野寺さんが目指すのは「福祉のスタバ化」。居心地のいい空間で、働く人が明るく、身近にある。そんな福祉業界を創造していきたいと考えている

進路 進学・就職

大学・短期大学の就職・進路

就職支援センター長 稲垣 久美子

コロナ禍2年目の就職活動

令和3(2021)年度卒の学生たちの就職活動は、3年次夏季インターンシップの時期から内定に至るまで、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けました。

学生たちはコロナ禍で授業がオンラインで行われ、課外活動も制限されるなか、周りとの交流や情報交換に困難さを感じる厳しい状況下での就職活動となりました。

企業においては、令和3年度卒の採用活動はコロナ禍2年目となり、前年度のように対外的にオンラインで採用活動を実施するのではなく、より戦略的にオンラインの利点を採用活動に活かすケースや、感染対策のポイントを押さえ、対面での採用面接を行うケースも見られました。

企業の採用活動がオンラインと対面の併用になったことから、学生たちは、オンラインと対面それぞれの形式での選考対策が必要になりました。

大学としての対応

本学では、就職担当教員とキャリア支援担当職員が連携しながら、学生1人ひとりの状況にきめ細かく対応をしています。

就職活動支援を目的にした授業では、対面でのグループワークを取り入れ、学生同士が啓発し合いながら、コロナ禍での就職活動に対する不安を共に乗り越えていくよう支援しております。

本年度、大学・短期大学の全ての学科が東京キャンパスに集結されたことを最大限活かして、全学科を横断して実施する就職支援セミナーの充実を図ります。

また、学生たちがSNSなどを活用して互いにつながりながら支援し合う、就職活動支援におけるピアサポート体制づくりも進めてまいります。

令和3年度卒業生の進路状況

キャリア支援課長 寺田 稔

令和3(2021)年度卒業生の学生の就職活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2年目の就活となり、オンライン面接の対策をはじめ、複数の施策を講じたことにより、大学全体として

は進路決定率・就職決定率ともに前年を上回る実績となりました。

学生の就職先も多岐にわたります。これは学生の興味・関心・価値観を明確にし、個々の学生に沿った就職支援ができていくことの結果かと思われま

学部ごとの進路状況

進路決定者 (就職決定者+進学決定者+留学・専門学校入学者) 卒業生					
大学全体	人文	応用心理	子ども	経営	短期大学
令和3(2021)年度					
87.1%	89.2%	80.9%	96.5%	82.1%	95.7%
令和2(2020)年度					
83.4%	59.1%	78.2%	91.9%	88.4%	98.4%

就職決定者 (就職決定者 / 就職希望者)					
大学全体	人文	応用心理	子ども	経営	短期大学
令和3(2021)年度					
97.9%	96.0%	98.3%	100%	95.8%	100%
令和2(2020)年度					
96.1%	89.7%	95.4%	96.5%	98.0%	100%

学部	主な就職先
人文学部	<p>【製造】大和冷機工業(株) 【運輸】(株)近鉄ロジスティクス・システムズ 【卸売】カネレイ(株) 【小売】(株)Olympic、(株)ドン・キホーテ、ダイニングインターナショナル(株)、Zebra Japan(株)、(株)シュテルン高井戸、(株)KISSJAPAN 【物品質貨】キングラン(株) 【サービス】日鉄環境エネルギーソリューション(株)、ブリッジインターナショナル(株)、(株)フォーミュレーションI.T.S、(株)ミュゼプラチナム、(株)サービスセンター 【飲食】(株)サイゼリヤ、日本レストランシステム(株) 【医療】(医)IMSグループ 【福祉】(医)桐和会、ベネッセスタイルケア(株)、スターツケアサービス(株) 【教育】千葉県高等学校教諭、埼玉県中学校教諭 【公務】自衛隊、千葉県職員</p>
応用心理学部	<p>【保険】あいおいニッセイ同和損害保険(株) 【製造】ライオン(株) 【情報通信】(株)アウトソーシングテクノロジー 【卸売】渡辺パイプ(株) 【小売】イオンリテール(株)、(株)JR東日本クロスステーションリテールカンパニー、(株)ヤマダデンキ、(株)クスリのアオキ 【不動産】芝園開発(株) 【サービス】(株)スタジオアリス、JA都城、セントラル警備保証(株)、(株)一蔵、(株)ライフランド 【福祉】(医)桐和会、(福)佑啓会、(医)皓明会、(福)あおば福祉会、(株)DC宮原、(株)ベネッセスタイルケア、(株)ニチイケアパレス、(株)日本デイケアセンター 【医療】(医)IMSグループ 【公務】警視庁、熊谷市役所</p>
子ども学部	<p>【就職・保育職】小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、学童クラブ、施設等 【製造】セーレンKST(株) 【情報通信】(株)シャノン 【卸売】(株)エデュカルモチベーションズ 【小売】(株)アデランス、(株)キタムラ 【サービス】(株)ニチイ学館、(株)じょぶらい、(株)マーキュリー、Suprieve Holdings(株)、東京都個人タクシー協同組合、(株)スタッフサービス ミラエール事業部 【教育】(株)明光ネットワークジャパン、(株)総合体育研究所</p>
経営学部	<p>【金融】朝日信用金庫 【建設】大竹建窓(株)、(株)エレコン 【製造】丸井産業(株)、【ガス】(株)リック 【情報通信】(株)システム技研、(株)日本システムデザイン、(株)東京モバイルネットワーク 【運輸】福山通運(株) 【卸売】マテックス(株) 【小売】トヨタモビリティ東京(株)、ネットトヨタ東埼玉(株)、トヨタカローラ高崎(株)、群馬トヨタ自動車(株)、(株)ペルーナ、(株)ベルク、(株)ビームス、(株)BuySell Technologies、(株)Xcom GLOBAL 【不動産】大東建託(株)、東急リバブル(株)、(株)エイブル、ユナイト(株) 【福祉】(株)ベネッセスタイルケア 【教育】(株)さなる</p>

高等学校の進学

オープンキャンパスの再開やオンライン開催など、積極的に情報提供をおこなう大学も増え、さらにワクチン接種などが進んだことにより”超地元志向“は弱まり、受験生にとって志望大学の選択の幅が広がる1年となりました。

入試は、昨年度より始まった大学入学共通テストが難化したもの、コロナ禍による家計不安などにより、国立大で志願者増の傾向がみられました。一方、私大は難関大でやや志願者増となるも、コロナ禍以前には戻らない大学が多数でした。また定員が比較的多い一般選抜で難関大を目指す層と、12月の年内までに実施する総合型や学校推薦型選抜で早期合格を目指す層の二極化が強まりました。

東京成徳大学高等学校

進路指導部長 吉川 直樹

昨年度の共通テストは、共通一次、センター試験に続いて入試改革2年目のジンクス通り、全国平均が大幅に下がった大荒れの大学入試となりました。実際、3月まで進学先が決まらない受験生も多く出ましたが、本校の受験生たちは粘り強く努力を続け、たくさん合格を勝ち取ることができました。

我々教職員も、クラス担任を中心に個々の生徒に寄り添い続けたことも成果につながったと自負しております。AO入試から名称変更した総合型選抜や、様々な推薦入試を一本化した学校推薦型選抜では、出願書類作りや小論文、面接指導等を進路担当教員が親身に対応して行いました。また、多くの生徒が受験する一般選抜では、1人ひとりの出願先を教員間で共有し、適切なアドバイスにも努めました。

共通テストへの英語民間試験の導入は受験の公平性の観点から中止となりましたが、現在、私大を中心に様々な形で入試に導入され、英語民間試験の個人受験が毎日のように各地で行われています。また、現高校1年生からは新入試となり、「情報」が新たに入試科目に加わるなどの大きな変更が予定されています。更に、まだまだコロナへの対応も油断できません。

しかし、今後、どんなに教育が変わり、入試が変化したとしても、生徒たちと一緒に笑ったり、悩みを共有し自分のことのように悔しがったりするなど、親身な対応が進路サポートにとっても何よりも大切なことだと思います。ピンチはチャンス、危機は機会であるように、今後も前向きに進路サポートを継続していきたいと思えます。

東京成徳大学高等学校 令和3(2021)年度 主な合格実績

国公立大学 (準大学含む)	19名
筑波 電気通信 千葉 埼玉 東京農工 釧路公立 新潟 静岡 東京都立 埼玉県立 都留文科 防衛医科	など
難関私立大学	162名
早稲田 慶應義塾 上智 東京理科 明治 青山学院 立教 法政 中央 学習院	
併設の大学・短大	15名
東京成徳大学(14名) 東京成徳短期大学(1名)	
(高等部・中高一貫部・浪人含む 延べ人数)	

※高等部・中高一貫部それぞれの合格実績は各HPをご覧ください

東京成徳大学深谷高等学校

進路指導部長 木村 哲久

令和3(2021)年度の深谷校卒業生数367名の進路状況は、大学197名、短大24名、専門学校129名、就職8名、浪人5名、その他4名でした。大学、短大への進学者数は昨年並みでしたが、専門学校への進学者が大きく増加するという結果となりました。

新入試や新型コロナウイルス感染症への不安から、安全志向が強まり、年内に入試を終えたいという希望者が非常に多くなりました。そのため、強気な志望で一般選抜を目指す生徒との二極化が進み、学校全体では指定校推薦を希望する生徒・保護者の増加がみられました。対策が必要となる総合型選抜を回避して学校推薦型選抜に流れた生徒も多いことから、

総合型選抜に向けた対策(口頭試問・学力試験)を早期に開始することで、より上位の学校への合格を目指していく必要性があると考えています。

一般選抜においては、入試の二極化からの実質倍率の大幅な減少があり、合格を目指して最後まで受験に全力で取り組んだ生徒にとって、合格が出やすい状況でした。昨年まで多く見られた追加合格も、かなり落ち着いた状況となりました。

入試の二極化と並行して、一般選抜を重視する学校と学校推薦型・総合型選抜を重視する学校との二極化も進んできており、生徒の志望先に応じた適切な受験が重要になってきました。本校でも今後の入試情報に注意しながら、面談などを通じて生徒・保護者の希望に対して適切な出願指導を行ってまいります。

東京成徳大学深谷高等学校 令和3年(2021)度 主な合格実績

国公立大学	5名
筑波 群馬 茨城 宇都宮 釧路公立	
私立大学	287名
明治 青山学院 法政 武蔵 東洋 日本 駒澤 専修 芝浦工業 獨協 東海 大東文化 亜細亜 帝京 国士館	など
併設の大学・短大	9名
東京成徳大学(7名) 東京成徳短期大学(2名)	
(浪人含む 延べ人数)	

令和3年度事業の概要

東京成徳学園は、創立95周年にあたる令和3年度、1,578人が卒業し、累計卒業者は13万人を超えました。また、令和4年度は、1,542人の入学者を迎え、在籍する学生・生徒・園児の総数は、前年比17人減の5,064人（5月1日現在）となりました。

令和3年度の学園並びに各部門の主要事業は左記のとおりです。詳しくは、東京成徳学園ホームページ*の「令和3年度事業報告書」をご覧ください。

・東京成徳学園全体の令和3年度卒業生数	1,578人（累計130,255人）
・東京成徳学園全体の令和4年度入学者数	1,542人（前年比-52人）
・東京成徳学園全体の令和4年度在籍する学生・生徒・園児の総数（5/1現在）	5,064人（前年比-17人）

東京成徳学園全体としての主要事業

- ① 東京成徳ビジョン100・中期事業計画の推進、ブランド・ステートメントの浸透
- ・グローバル人材育成、ICT教育の充実、教育の質の向上に努めるなど、事業計画の各目標項目を推進
- ・ブランド・ステートメントの内外への浸透とブランド戦略の推進
- ② 高等教育部門、中等教育部門の充実、教育内容の質の向上
- ③ 幼稚園園舎建替事業完了、および各学校施設・設備の充実
- ・幼稚園のWiFi環境、天然芝運動場、音響設備などの整備、園名「成徳幼稚園」の改称、幼稚園キャラクターの商標登録
- ・各部門の通信環境の強化、ICT機能の充実に努めるなど、ICT教育を推進

- ④ 法令改正対応、コンプライアンス
- ・ガバナンスに関する理事会、評議員会運営規程、個人情報保護規程、育児休業規程・介護休業規程の変更を対応 ほか

高等教育部門（大学・短大）の主要事業

- ① 東京キャンパスへの移転事業の完了
- ② 日本高等教育評価機構による認証評価受審の準備
- ③ 社会ニーズに対応した学部・学科や組織の編成（国際学部の留学派遣対応、コロナ禍へ対応した対面授業への移行、他大学との差別化）
- ・データに基づく分析調査などのSD・FD活動やカリキュラム改革の推進（3つのポリシーや教育課程、授業内容および方法の改善）
- ・各学部・学科に適した能動的学修（アクティブラーニング）の開発、実践 ほか
- ④ 教育の質の向上、キャリア教育の見直しと充実、グローバル教育に向けての学修体制の充実 ほか

中等教育部門（中学・高等学校）の主要事業

- ① コロナ禍へ対応した教育活動、学校行事の実施
- ・年間を通して対面形式を維持しながら、感染状況に応じて分散登校や遠隔授業を導入
- ② ICT機器やWiFi環境整備、プロジェクト設置などハード面と教員のICT研修推進などソフト面の充実
- ③ 進学センター等による講習やオンライン学習サービス（スタディサプリほか）の有効活用、生徒の自主学習の奨励 ほか

幼児教育部門（幼稚園）の主要事業

- ① コロナ禍へ対応した通常保育の実施（諸行事の縮小や分散実施または中心、延期などで対応）
- ② 園舎建替工事期間の安全に配慮した保育
- ③ 園舎建替工事終了後に開始した新園舎での保育の移行 ほか

学校法人東京成徳学園 令和3年度決算報告

資金収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,089,801
手数料収入	101,063
寄付金収入	48,643
補助金収入	1,690,849
資産売却収入	425
付随事業・収益事業収入	282
受取利息・配当金収入	339
雑収入	288,721
借入金等収入	1,500
前受金収入	753,914
その他の収入	289,406
資金収入調整勘定	△ 1,035,539
前年度繰越支払資金	7,578,141
収入の部 合計	13,807,545
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,691,076
教育研究経費支出	1,150,198
管理経費支出	314,743
借入金等利息支出	18,516
借入金等返済支出	241,850
施設関係支出	423,318
設備関係支出	162,317
資産運用支出	0
その他の支出	348,049
資金支出調整勘定	△ 277,212
翌年度繰越支払資金	7,734,689
支出の部 合計	13,807,545

(注) 千円未満を四捨五入しているため、合計等に差異が生じる場合があります。

事業活動収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目		金 額
学生生徒等納付金		4,089,801
手数料		101,063
寄付金		4,754
経常費等補助金		1,672,205
付随事業収入		282
雑収入		288,721
教育活動収入計		6,156,826
科 目		金 額
人件費		3,691,602
教育研究経費		1,992,113
管理経費		386,606
徴収不能額等		4,000
教育活動支出計		6,074,322
教育活動収支差額		82,504
教育活動	教育活動外収入計	339
外収支	教育活動外支出計	18,516
	教育活動外収支差額	△ 18,177
経常収支差額		64,327
特別収支	特別収入計	66,071
	特別支出計	28,264
	特別収支差額	37,808
基本金組入前当年度収支差額		102,135
基本金組入額合計		△ 449,996
当年度収支差額		△ 347,861
前年度繰越収支差額		△ 11,045,476
基本金取崩額		128
翌年度繰越収支差額		△ 11,393,210
(参考)		
事業活動収入計		6,223,236
事業活動支出計		6,121,101

貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	41,565,614
有形固定資産	39,240,701
特定資産	2,229,996
その他の固定資産	94,917
流動資産	8,349,714
資産の部 合計	49,915,328
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	3,609,644
流動負債	1,749,602
負債の部 合計	5,359,246
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	55,949,291
第1号基本金	55,226,291
第3号基本金	300,000
第4号基本金	423,000
繰越収支差額	△ 11,393,210
純資産の部 合計	44,556,082
負債および純資産の部 合計	49,915,328

令和4年度事業計画（抜粋）

部門	ビジョン100 重点目標	令和4（2022）年度主要事業の内容
大学	社会ニーズに対応した学部・学科編成	<ul style="list-style-type: none"> HPのリニューアル、ブランド・ステートメントとタグラインについて、積極的な情報発信 専門家によるネット環境診断をもとに、ネット環境の改善、ICT教育のための設備・機材を整備 入学定員の安定的確保と、より質の高い学生の獲得のための入試方法の質の改善
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 改革総合支援事業および客観的指標に基づく教育の質の改善、ICT教育の全学的な改革・改善 外部評価委員会、学生代表者委員会の意見をPDCAサイクルに組み込み、教育の改善・向上 教員業績評価制度、教員相互の授業参観と授業検討を通して、授業改善と教育力の向上 3ポリシー、教育課程、授業内容および方法等の改善にむけて、PDCAサイクルの機能を活性化 アクティブ・ラーニングを含めた授業方法の見直しとICTを有効活用する授業方法の開発・実践 キャリア教育の充実と支援体制の強化を図り、就職率の一層の向上と質の高い就職率の向上
	大学の発展につながるグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> 海外留学支援の全学部学生への普及、English loungeの拡大・推進、学生主体のStudents of International Clubの活動強化 留学先の新規開拓を通じた本学の海外ネットワークの拡充 新しい時代に対応したICT教育の見直しと充実、ICT関連の講習会の計画立案
短期大学	社会ニーズに対応した学科編成	<ul style="list-style-type: none"> ディプロマポリシーとアドミッションポリシーとの整合性の検証、入学希望者の質の確保 他大学との差別化を図るために本学の特色ある科目を強化 キャッチコピーを学生・教員から公募、科広報の動画制作およびパンフレット作製
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 教員の研究力向上のため共同研究を開発、改革総合支援事業推進委員会での授業評価の査定等 在職年数の把握を行い、適正な就職指導の基礎資料を作成 入学者の学習成績・日本語力等を精査し、入学前教育冊子の内容を再検討
	短期大学の発展につながるグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> 全学で実施の英語教育講座の受講推進、オンラインで海外の保育事情を学ぶ機会を継続実施 ICTを活用した、本学独自のキッズ英語を開発し、授業に導入 保育現場での指導計画等の電子化に対応できるようタブレット型パソコンの購入支援事業を展開
高等学校・中学校	創造性と チャレンジ精神を涵養し 主体的に学び、考え、 行動する人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染拡大時における感染防止策、備品購入、オンライン授業、感染者発生時の対応 「自分を深める学習」の深化・実施 高等部の「CTP^{※1}」プログラム、中高一貫部の探求型「理科プロジェクト」の推進 学校行事の生徒による主体的運営（コロナウイルス感染状況により実施検討） 学習指導要領改定に基づくカリキュラム実施
	グローバル人材の 育成の強化を図るとともに 社会的評価の獲得を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 中高一貫部の新留学プログラム推進、休暇中の語学研修プログラムの充実 英語四技能向上に向けての教員の資質向上、四技能習得への強化 ADS^{※2}認定校としての活動を通じてネットワークの拡大、片柳学園との連携によるICT教育強化
	大学入試の変化等にもともなう 教育内容の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テスト対策および英語外部検定試験受験対策の強化 進学目標の設定と実現、海外大学受験希望者への対策
深谷高等学校・中学校	机上の学習をリアルな 主体的実体験へ 生徒の能力や学習意欲を引き出す授業を展開	<ul style="list-style-type: none"> 校外先進校視察研修、オンライン教育研修、校内互見授業などによる更なる授業改善の継続 学力の3要素に基づく授業の量的・質的向上、ICT教育の環境整備とe-ラーニングの着実な推進 全教員によるアクティブラーニング型授業の実践と公開授業・研修の推進 外国人教員を活用したクリル（CLIL^{※3}）の実践
	外国語教育の充実・ 外国文化の理解などで グローバル人材育成での 社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 英語検定対策講座と個人指導の充実、2次試験対策個人指導を計画的に実施 英語によるレシテーション大会・スピーチコンテスト・プレゼンコンテスト・ディスカッション・ディベートの実施とその内容の充実 校内外の研修や先進校視察等による指導力アップ、外国人教員の協力による疑似留学体験の実施
	大学入試の変化等にもともなう 教育内容の変化への迅速な対応 受験指導における 「東京成徳深谷サポーター制度」 の導入検討も	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革への完全対応、英語4技能向上・資格取得に向けた指導の充実 新学習指導要領による新教育課程移行への確実な移行、「総合的な探求の時間」の効果的な実践 「進学センター」にて、課外の講座を開講、個別指導教室の開設
幼稚園	幼児教育環境の変化に 対応する幼児教育の プログラムの再構築	<ul style="list-style-type: none"> 新園舎竣工、園名を「成徳幼稚園」と変更、アニマルキャラクター「コメント」くんの作製 カリキュラムの更なる見直しとタブレット利用による保育の充実、満3歳児保育の検討実施 週5日保育と長期休業中の預り保育の実施 上記に伴う就業規則改定（土日休業など）
学園	グローバル人材育成のため、 学園全体の教育環境を 重点的に整備する	<ul style="list-style-type: none"> ブランド・ステートメントの実装「多様性」「共生」「新たな自分」「自らの信念」「未来をデザイン」をいかに実現するか各施策の関連付けと強化 ICT教育環境の内容充実、設備・備品の更新、新機能・技術の備品導入検討（DX推進、AI分野） グローバル教育センターの充実、英語コミュニケーション環境の見直しと整備（設備、人員他）

※1 CTP (Critical Thinking Program) : 「学び合い」を基本としたアクティブラーニングスタイルの「+a」となる特別授業。

※2 ADS (Apple Distinguished School) : iPadやMacなどのICTを活用し、先進的な教育に取り組む学校をAppleが認定する制度。

※3 CLIL (Content and Language Integrated Learning) : 他教科科目（理科や社会科など）やテーマの内容の学習と外国語（主に英語）の学習を組み合わせた学習。

役員・評議員の改選

令和4年3月並びに5月に開催された学園理事会・評議員会において、評議員の退任および役員・評議員の任期到来に伴う選任が行われ、左表のとおり決定しました。

理事・監事・評議員

(注) 選任区分順、○：新任者、※：学外理事

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内秀樹	短期大学長、中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	吉田富二雄	大学長
理事・評議員	神田正	深谷中学・高等学校長
理事・評議員	木内雄太	法人本部副本部長、中学・高等学校教諭、幼稚園副園長
理事・評議員	関博光	法人事務局長
理事・評議員	前田雅英	東京都立大学法科大学院名誉教授・講師 ※
理事・評議員	青柳晴久	赤城印刷株式会社代表取締役 ※
理事・評議員	柳澤裕	ジャパンリアルエステイト投資法人執行役員 ※
監事	黒崎康夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
監事	石山賢	前法人事務局長
評議員	村山純	大学副学長、大学経営学部長
評議員	一谷幸男	大学応用心理学部長
評議員	小林雅央	大学事務局長、短期大学事務局長
評議員	染谷一子	中学・高等学校同窓会長
評議員	遠藤洋子	短期大学同窓会長
評議員	藪崎精克	学園後援会長、株式会社藪崎工務店代表取締役
評議員	永井聖二	大学子ども学部長
評議員	石隈利紀	大学院心理学研究科長
評議員	津島泰雄	津島歯科医院長
評議員	○松本純子	短期大学幼児教育科長
評議員	木内万里夫	住友精密工業株式会社、グロービス経営大学院大学教授

(就任)

評議員 松本 純子

江東区立教諭、東京都教育委員会を経て、平成16年に短期大学幼児教育科助教授として着任。幼児教育科教授、主任を経て、令和4年より現職。

(退任)

評議員 安見 克夫

平成16年4月に短期大学幼児教育科教授として着任。平成25年より幼児教育科長、学園評議員。

東京成徳短期大学名誉教授の授与

安見前幼児教育科長には、科長在職中に、短期大学認証評価の受審、コロナウイルス対策、短大創立50年、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーの整備着手など、多岐にわたって、短期大学並びに学園の発展にご尽力いただきました。退任後は、これまでのご功績により、短期大学名誉教授の称号を授与しました。



表彰・受賞のご紹介

日本感情心理学会

グッドプレゼンテーション賞

東京成徳大学の関谷大輝准教授(応用心理学部健康・スポーツ心理学科)は、「日本感情心理学会第29回大会大会発表賞(グッドプレゼンテーション賞)」を受賞しました。



関谷大輝准教授

題目：コロナ風呂、入ルベカラズ
—入墨を拒否：許容する入浴施設に対する印象評定の差異に関する検討—

日本健康心理学会 優秀発表賞

東京成徳大学の小西瑞穂特任准教授(応用心理学部臨床心理学科)は、「日本健康心理学会第34回大会 優秀発表賞 独創性部門」を受賞しました。



小西瑞穂特任准教授

題目：食物アレルギーの心理面に与える影響に関する実態調査(2)
—原因食物の違いによる差に焦点をあてて—

クラブ活動等 大会成績 (2022年1月～6月)

東京成徳大学

男子バスケットボール部*

第71回関東大学バスケットボール選手権大会
3回戦敗退

第62回関東大学バスケットボール新人戦
1回戦敗退

女子バスケットボール部

第56回関東大学女子バスケットボール選手権大会
1回戦敗退

第12回関東大学女子バスケットボール新人戦
1回戦敗退

*バスケ部1名が2022年度男子U22日本代表チーム第3次強化合宿に招聘されました(合宿期間6/20～6/22)

東京成徳大学高等学校

※都大会のベスト16以上を掲載

硬式野球部

令和4年度 春季東京都高等学校野球大会 兼
関東地区高等学校野球大会出場校決定戦
ベスト8

女子バスケットボール部

令和3年度 東京都高等学校
女子バスケットボール新人大会 兼
関東高等学校バスケットボール新人大会予選
ベスト4
※大会途中で中止・関東大会中止

令和4年度 東京都高等学校
女子バスケットボール春季大会 兼
関東高等学校選手権大会予選
準優勝
(関東大会進出)

令和4年度 第76回 関東高等学校
女子バスケットボール選手権大会 Aブロック
3位

令和4年度 東京都高等学校総合体育大会 兼
全国高等学校総合体育大会予選
3位

ラクロス部 (中高女子ラクロス)

第13回 全国中学高等学校女子ラクロス選手権大会
優勝
(大会最優秀選手(高2)選出)

2022関東中高女子ラクロス春季特別大会
優勝

女子ソフトボール部

令和4年度 東京都高等学校総合体育大会 兼
全国高等学校総合体育大会予選
ベスト16

バドミントン部

令和3年度 東京都高等学校バドミントン冬季大会
東ブロック(団体) 男子 II部2組 2位
女子 II部3組 2位

令和4年度 東京都高等学校総合体育大会 兼
全国高等学校総合体育大会予選 東ブロック(団体)
男子 ベスト16
女子 ベスト16

陸上競技部

第75回 東京都高等学校陸上競技対校選手権大会
男子 円盤投 6位(高3)
(南関東大会進出)
三段跳 8位(高2)
やり投げ 10位(高3)、11位(高2)
ハンマー投げ 11位(高2)
女子 ハンマー投げ 9位(高1)

令和4年度 関東高等学校陸上競技大会 兼
第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会南関東予選
男子 円盤投 19位(高3)

水泳部

令和4年度 東京都高等学校春季水泳競技大会
男子 400m自由形 6位(高2)
50m自由形 7位(高3)
女子 100mバタフライ 7位(高3)

令和4年度 東京都高等学校選手権水泳競技大会
男子 400m 8位(高2)
1500m 8位(高2)

卓球部

令和4年度 東京都高等学校春季卓球大会(団体)
ベスト16

令和4年度 東京都高等学校総合体育大会(団体)
ベスト8

バトントワリング部

第35回関東バトントワリングコンテスト
ソロストラット ジュニアII部門 優勝(高2)
トゥーバトン ジュニアII部門 準優勝(高2)
ソロトワール ジュニアII部門 4位(高2)
トゥーバトン シニアI部門 3位(高3)

その他

第9回 SAGE JAPAN CUP 優勝(高1 中高一貫部ゼミ:5名)
(世界大会進出)

東京成徳大学深谷高等学校

※県大会のベスト16以上を掲載

サッカー部

令和4年度 関東高等学校サッカー大会埼玉県予選
ベスト4

令和4年度 学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会
サッカー大会埼玉県予選 準優勝

パワーリフティング部

第27回ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会
サブジュニア男子74kg級 優勝 (高2)

第19回全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会
男子 53kg級 4位 (高1)
74kg級 優勝 (高2)
(文部科学大臣表彰)

女子 47kg級 優勝 (高1)

第40回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会
埼玉県予選
男子 53kg級 4位 (高2)
83kg級 優勝 (高3)
女子 47kg級 優勝 (高2)
69kg級 優勝 (高2)

弓道部

令和3年度 第21回東日本高等学校弓道大会
女子の部 5人制 準優勝
3人制 ベスト8

第11回全国私立高等学校弓道大会
女子の部 チーム総的中戦 優勝 (Aチーム)
トーナメント戦 3位 (Aチーム)

令和4年度 関東高等学校弓道大会埼玉県予選
女子個人 5位 (高3)

令和4年度 学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会
弓道競技埼玉県予選 女子個人 4位 (高3)
(全国大会進出)

令和4年度 埼玉県高等学校遠の大会 兼
全国高校選抜遠的弓道大会 (第24回紫灘旗弓道大会)
県予選 女子団体 5位

卓球部

令和4年度 関東高等学校卓球大会埼玉県予選
男子学校対抗 ベスト16
男子ダブルス ベスト8 (高3)

東京成徳大学中学校

※都大会のベスト16以上を掲載

女子バスケットボール部

令和3年度第72回東京都中学校
バスケットボール新人大会 ベスト8

ラクロス部 (中高女子ラクロス)

(東京成徳大学高等学校のラクロス部参照)

東京成徳大学高等学校

ラクロス部

第13回全国中学高等学校女子ラクロス選手権 優勝
写真提供: ラクロス専門メディア LACROSSE PLUS



ダイバーシティゼミ

第9回 SAGE JAPAN CUP 優勝 (世界大会進出)



東京成徳大学深谷高等学校

サッカー部

令和4年度学校総合体育大会 準優勝
写真提供: 埼玉サッカー通信



パワーリフティング部

ジャパンクラシック
パワーリフティング選手権大会
サブジュニア男子74kg級 優勝



弓道部

第11回全国私立高等学校弓道大会
女子の部チーム総的中戦 優勝



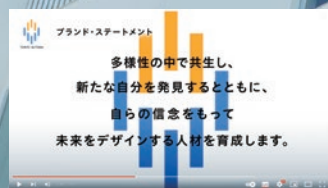
東京成徳大学・東京成徳短期大学では、2025年の学園創立100年を迎えるにあたり、ブランド価値向上の一環として、ブランド・ステートメントを策定しました。学園創立以来大切にしてきた「成徳」の精神を土台とすることで、本学園にとって大きな意味を持つブランド・ステートメントとなっています。


私たちは約束します。

ブランド・ステートメント

多様性の中で共生し、
新たな自分を発見するとともに、
自らの信念をもって
未来をデザインする人材を育成します。

グローバル化が加速する現代社会では、人種や国籍、宗教、性別、価値観などの多様性を受け入れ、必要な助け合いをしながら生きていく共生を、学問や経験を通して学ぶことが大切です。この学びや経験を通じて、これまでの殻を打ち破る新しい自分の使命や役割を探り当て、確固たる自分自身の信念のもと、自分の未来、自分たちの社会の未来を描き、切り拓いていく人材を、東京成徳では育成します。



 ブランド・ステートメントの
コンセプトムービー (YouTube)

動画の閲覧は
右のQRコードを
ご利用ください。



学校法人東京成徳学園の公式SNSをはじめました

東京成徳広報の制作、発行を担当する法人本部企画調査室で、学園公式のツイッター、フェイスブック、インスタグラムのSNSアカウントを運用しています。SNSを通じて、東京成徳学園の各設置校に関する情報を中心に、ご紹介しています。各SNSのフォローをどうぞよろしくお願いいたします。

Twitter
@tokyoseitokuPR



Facebook
@tokyoseitokuPR



Instagram
@tokyoseitokupr



学校法人 東京成徳学園	https://www.tokyoseitoku.ac.jp	
東京成徳大学大学院 心理・教育相談センター	https://www.tsu.ac.jp/gra/ https://www.tsu.ac.jp/center/tabid/210/Default.aspx	電話 03-5948-5161 電話 03-5948-5162
東京成徳大学 東京キャンパス (十条)	https://www.tsu.ac.jp	電話 03-3908-4530
東京成徳短期大学	https://www.tsu.ac.jp	電話 03-3908-4530
東京成徳大学中学・高等学校 中高一貫部 高等部	https://www.tokyoseitoku.jp/js/ https://www.tokyoseitoku.jp/hs/	電話 03-3911-2786 電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷中学・高等学校 中学校 高等学校	https://www.tsfj.jp https://www.tsfh.jp	電話 048-573-1784 電話 048-571-1303
成徳幼稚園	https://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/	電話 03-3911-6337
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383